

けいはんな学研都市におけるスマートシティの構築について

【担当省庁】内閣府、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省

けいはんな学研都市では、「国家戦略特区」や「関西イノベーション国際戦略総合特区」、「次世代エネルギー・社会システム実証事業」等により、エネルギー自給型の未来都市モデルづくり等に取り組むとともに、本年3月には、スペイン・バルセロナと協働し、世界各地から研究者やビジネスリーダーを招き、「京都スマートシティエキスポ2014・国際シンポジウム」を開催するなど、スマートシティの構築に向けた取組を産学公住一体となって進めており、こうした我が国のイノベーションを牽引するけいはんな学研都市の取組を更に推進するため、国において以下の措置を講じていただきたい。

関西文化学術研究都市建設促進法による法人税特別償却制度の延長

国内外の企業立地や設備投資の促進にとって重要な誘因となる法人税特別償却制度について、今後も企業等による有効活用が見込まれるため、当制度の適用期限(平成27年3月まで)を延長していただきたい。

けいはんな学研都市の新たな羅針盤となる「フォース・ステージ・プラン(仮称)」の策定

けいはんな学研都市は「関西文化学術研究都市建設促進法」により、国家プロジェクトとして、都市整備や企業の立地促進、研究・開発が進められてきたが、国が策定した現在の「サード・ステージ・プラン」は、平成27年度までのプランである。京都府としては、今後、エネルギー、ヘルスケア、防災、交通など様々な都市基盤をICTにより最適化するスマートシティの構築に取り組んでいくこととしており、これを踏まえ、国において「フォース・ステージ・プラン(仮称)」の策定に取り組んでいただきたい。

スマートシティ形成に係る研究・開発への競争的資金の積極的投入

京都府では、スマートシティ形成に係る先端的な共同研究等の集積を図り、イノベーション創出を強力に推進するため、国から譲与された旧「私のしごと館」を活用した「けいはんなオープンイノベーションセンター(仮称)」の整備を進めている。

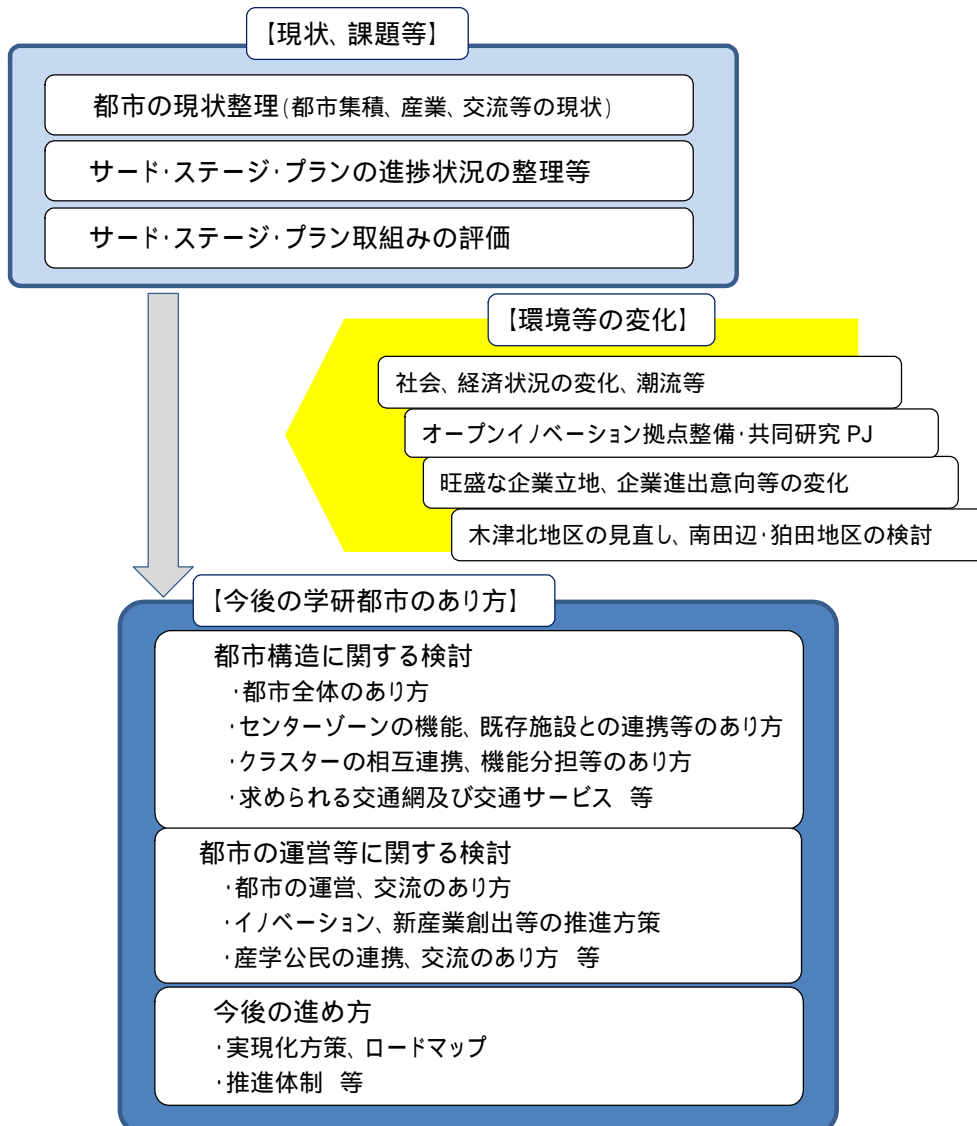
今後、こうした拠点を核に、けいはんな学研都市において、「国家戦略特区」、「関西イノベーション国際戦略総合特区」の推進に向けて、健康・医療、エネルギー、アグリ等に関する研究開発等を進めていくこととしているため、研究開発等の推進にとって必要な施設・設備の整備を可能とする制度を拡充・創設していただきたい。

その上で、競争的資金を京都の取組に積極的に投入していただきたい。

< 現状・課題等 >

けいはんな学研都市の「フォース・ステージ・プラン（仮称）」の策定に向けた地元としての取組

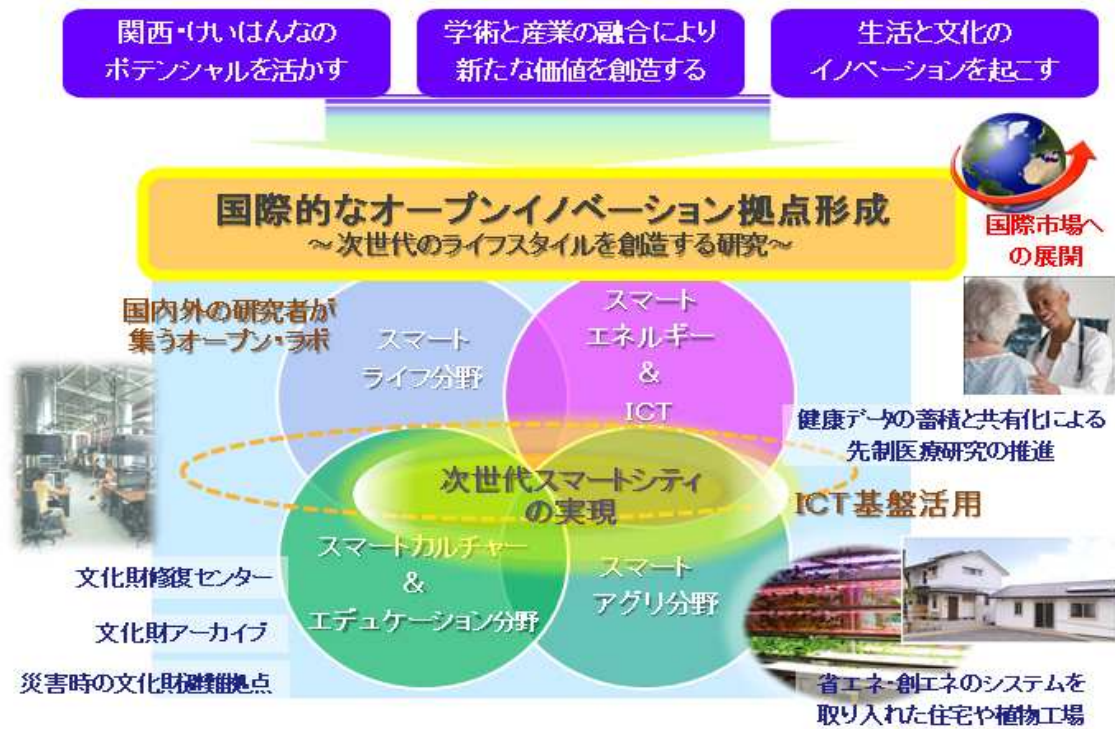
（独）都市再生機構、（一財）民間都市開発推進機構、（公財）関西文化学術研究都市推進機構、京都府等が一体となり、けいはんな学研都市に関する現状・課題の抽出、都市構造、都市の運営等の今後のあり方や「フォース・ステージ・プラン（仮称）」で目指すべき方向性等について検討。国への提案を予定



法人税特別償却制度の適用実績 (20 ~ 25 年度実績、26 ~ 予定)

年度	20	21	22	23	24	25	26 以降予定
適用実績(件)	4	2	2	2	2	3	13

 **けいはんなオープンイノベーション拠点整備のコンセプト**



【京都府の担当部局】

政策企画部 文化学術研究都市推進課 075-414-5194
 新技術拠点整備課 075-414-4372